

3. 67回大会企画

■ 腹部超音波検査ライブデモンストレーション

9月5日(土) 9:00~10:30 第5会場(熊本城ホール 3F 大会議室A4)

ライブデモンストレーションで学ぶ超音波スクリーニングのコツ

座長：一二三倫郎(日本赤十字社熊本健康管理センター)

ライブデモンストレーションで学ぶ膵胆道疾患発見と評価のポイント

演者：岡庭 信司(飯田市立病院)

腹部超音波検査には様々なピットフォールがあるため、腹部超音波検診判定マニュアルでは複数の体位変換を推奨しています。

今回は膵胆道領域のピットフォールと体位変換の活用についてライブデモンストレーションで提示します。

機器協力：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

人数：150名

申込：事前申込制

※第67回学術大会Webサイトよりお申し込みください
(6月16日(火)正午より受付開始)。

※残席がある場合は当日のご参加も可能です。

■ 健診看護企画

9月5日(土) 9:40~11:10 第4会場(熊本城ホール 3F 大会議室A3)

「大事にしてくれる人」「わかってくれる人」になれるコミュニケーションスキル

座長：石本 裕美(日本赤十字社熊本健康管理センター)

講師：采田 志麻(医療法人創起会 くまもと森都総合病院)

ファシリテーター：島崎 希(済生会熊本病院予防医療センター)

田口久美子(佐世保中央病院予防医療センター)

森 龍子(鹿児島厚生連病院健康管理センター)

西 貴子(日本赤十字社長崎原爆諫早病院)

健診・人間ドックの現場では、受診者の不安や戸惑い、時には強い感情に向き合うことがあります。「どう声をかければよかったのか」「もっと気持ちに寄り添えたのではないか」と振り返る場面は、誰もが経験しているのではないのでしょうか。

本企画では、受診者に「大事にされている」「自分のことをわかってきている」と感じてもらえる関わりをテーマに、実践的なコミュニケーションスキルを学びます。

「ロールプレイはちょっと苦手…」

「人前で演じるのは緊張する」

そう感じている方にこそ、ぜひ参加していただきたい企画です。

本企画では、腫瘍内科医師による講義に加え、健診現場で実際に起こりやすい場面を題材にしたロールプレイを行います。上手に演じることや正解を求めることが目的ではありません。受診者役・看護職役を体験しながら、「言われてうれしい言葉」「少し距離を感じてしまう関わり」を感

じ取り、明日から現場で使えるコミュニケーションのヒントを見つけていきます。
健診現場の第一線で活躍する看護職の皆様のご参加をお待ちしています。

対象者：問診や保健相談、検査の介助等、受診者と対応する現場スタッフ

人 数：100名

方 法：講義、ロールプレイ（現地参加限定プログラム）

申 込：事前申込制

※第67回学術大会Webサイトよりお申し込みください
（6月16日（火）正午より受付開始）。

※残席がある場合は当日のご参加も可能です。

■ 健診施設での臨床研究・予防医療学分野における医療統計相談会

9月5日（土） 9:00～14:00 統計相談会会場（熊本城ホール 4F 401/402）

担当者：山陰 一（株式会社サティスタ）

小津 有輝（順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床研究・治験センター）

申 込：事前申込制

※第67回学術大会Webサイトよりお申し込みください
（6月16日（火）正午より受付開始）。

■ 災害パネル展示

9月4日（金） 9:00～17:00（熊本城ホール 4F ホワイエ）

9月5日（土） 9:00～15:00（熊本城ホール 4F ホワイエ）

～災害時における予防医療の価値～

熊本地震10年の節目を迎え、地震の際、そして令和2年7月の豪雨災害時に行われた健康支援の取り組みを紹介しています。

災害時における予防と健康管理の重要性を踏まえ、日頃からの備えや行動について考える契機となることを目的に作成しました。

ご覧いただけましたら幸いです。